

# えべひめ

4

立川と語ろう 立川に生きよう  
April 2007  
écoutez bien Vol.25 No.269



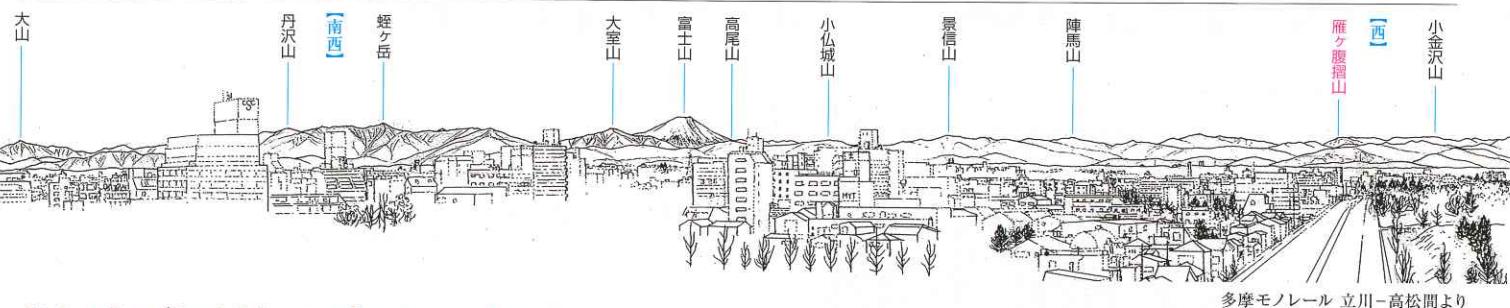
表紙の人／吉川勝子（柴崎町） 写真／細江英公

## 続・立川から見える山 ⑨

案内人：守屋龍男 写真：中村 伸  
山岳展望図：藤本一美

# 雁ヶ腹摺山

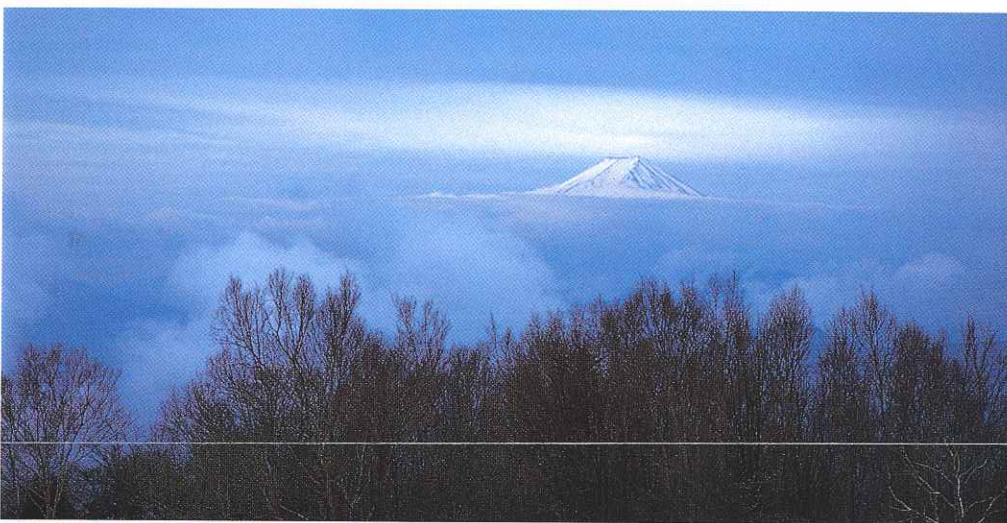
1874m



## 旧五百円札の富士を見る

### 〔雁ヶ腹摺山へのコース〕

1. 大月＝バス＝桑西→林道 4 時間→大峠→1 時間→雁ヶ腹摺山→往路を戻る。姥子山まで往復 2 時間。  
なおタクシーやマイカーで大峠まで入れる（冬季は通行禁止）
2. 大月＝バス＝上和田→樅ノ木尾根経由 5 時間→雁ヶ腹摺山（経験者向き。ヤブ漕ぎもある難路）



がん はらすりやま  
雁ヶ腹摺山という山名は実に珍しい。由来は渡り鳥の  
ガンが腹をすりそうになって越えて行ったからという。同  
名の山はこの山域でも他に二つある。笛子雁ヶ腹摺山と  
牛奥ノ雁ヶ腹摺山である。旧五百円札に登場する富士山  
は雁ヶ腹摺山頂から撮影されたものだ。

林道の雪が融け通行が出来るようになった晩春に、登  
山口の大峠まで車で入った。大峠は整備が行き届き、園  
地のようだ。クマ注意の看板にちょっとたじろぐが、鈴を  
鳴らして行けば大丈夫だろう。

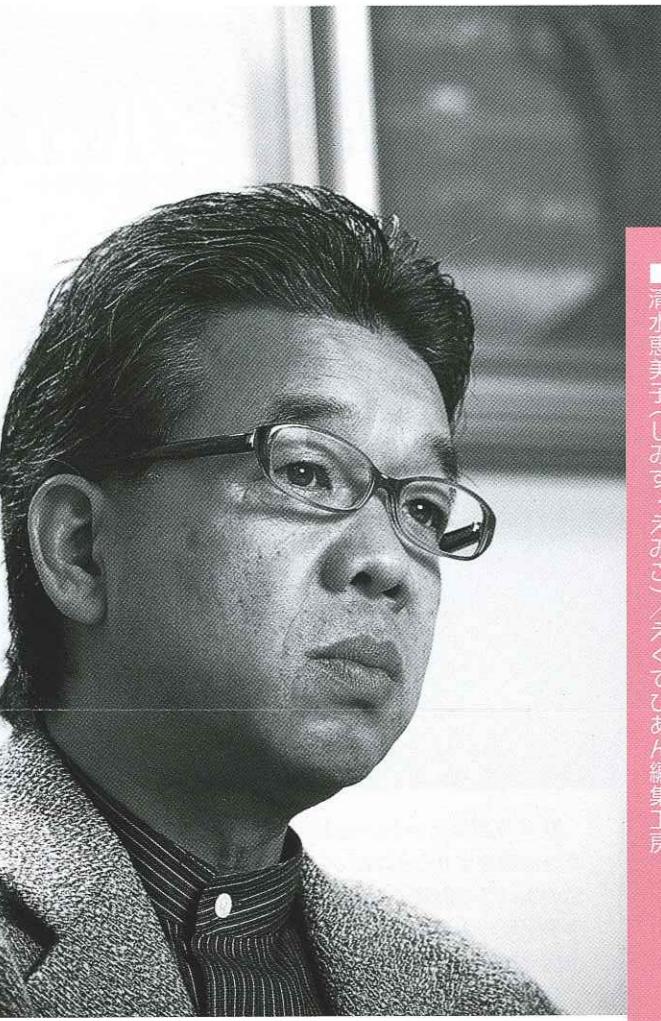
登り始めてすぐに小沢を渡る。そばに「名水」と記した  
板切れがある。ためしに飲んでみる。ミネラルが多くなか  
なか甘露であった。フジザクラやオオカメノキの花が咲き  
始め春の気配が漂う樹林帯を登る。ときどき、富士山が  
その秀麗な姿を枝越しに現す。しかし、雲がわき起こって  
おり今にも隠れそうなので、ペースを早めて登る。

花崗岩の白い砂が多くなった急坂を息を弾ませながら  
登ると、程なく山頂に着いた。雲の中から浮かぶように富  
士山が見えた。一幅の名画を見るような光景である。夢  
中で撮影しているうちに富士山は姿を消してしまった。や  
はり急ぎ足で登ってきて正解だった。

山頂には富士山が見えないときのために、写真などが  
看板に貼り付けてあった。

まだ、日が高いので近くにある姥子山（1503m）にも足  
を伸ばした。二つのピークの岩峰で大月方面の展望が素  
晴らしい。下山は元の道を戻り、林道の道端に生えている  
ウドやタラノメを少しこだわりながら大月に出た。

# 「食事」は一生の仕事



於：フーズ＆ヘルス研究所 写真：五来孝平

フーズ＆ヘルス研究所代表  
幕内 秀夫さん

かに良くなります。

**清水** ごはんに合ったおかずを作りますものね。

**幕内** そうそう。主食がおかずを決めるわけだから。パンにはうれん草のおひたしは合わない。うれん草のバター炒めなら合う。ごはんにマグロの刺身。パンだとカルパッチョかフライ、マリネ。カタカナ主食は主食も油だらけ。バター、マーガリンを塗り、パスタならオリーブオイル。サラダにドレッシングでまた油ということが日常化してしまった。子どもの場合は、きちんと腹一杯にさせないとお菓子が欲しくなるのは当たり前。腹持ちから考えてもきちんとご飯を食べさせる。それを抜きにして、おかずやおやつの話なんかあり得ない。

**清水** 「粗食のすすめレシピ集」はおいしそうだけど、おばあちゃんの手料理みたい。

**幕内** 私は昔話を書く気なんてない。平成のお母さんしか読まないんだと思って書いているんです。昔話で手の届かない提案をする気はない。

**清水** そうなんですよ。めんどくさいことを言わるとそれだけでいやになっちゃう。

**幕内** 私の書いた子どもの食事の本は、たぶん戦後最大の売り上げでしょう。私は毎日コンビニに行きます。年に1000回行く。裏庭で茄子とて食べようなんていう話ではないから。若いお母さんはスーパーとコンビニで買い物をするのが9割のはず。

**清水** そこで買っているものを知らないけれど書けないわけですね。

**幕内** よく「今の若い者は……」みたいなこと言うでしょ。でもその先には何もない。問題を指摘する本はたくさんあるけれど、提案なき指摘は絶望感しか与えないと思っているから。指摘するなら提案する。だからベストセラーになっている。

**清水** そんな提案がどうしてできるんですね。

■ 幕内 秀夫（まくうち・ひでお）／1953年生まれ。東京農業大学栄養学科卒業。管理栄養士。大学卒業後専門学校の講師を務めていたが、栄養教育に疑問をもち退職。以後、日本列島を徒步で縦断あるいは横断を重ね、伝統食と民間食養法を研究。フーズ＆ヘルス研究所代表。学校給食と子どもの健康を考える会代表。『小児の食生活講座』を主催。帯津三敬病院、松柏堂医院などで食事相談も担当。著書に『粗食のすすめ』『じょうぶな子どもをつくる基本食』など多数。料理教室『日常茶飯事くらぶ』ではごはんをしっかり食べる基本食を教えている。若葉町在住。

**清水** 私が幕内さんのお名前を知ったのは著書『粗食のすすめ』です。結局「お米を食べなさい」ということですか？ 一般に栄養士さんは「バランスよく食べなさい」と言ってますが。

**幕内** いや、それよりも「ご飯を残してもおかずを食べろ」です。これを言い出したのは栄養士です。最大のまちがいはそこです。

**清水** 米を食べなさいっていうことは、日本人の食事には米が合ってるということ？

**幕内** それもあるけれど、今の健康問題、小児生活習慣病、子どもの糖尿病の増加、コレステロールの高い子ども、小学生に肥満児が1割いるという現状、これはやっぱり脂質、砂糖の摂り過ぎなんです。

**清水** そういう子どもは、そんなに多い

ですか？

**幕内** 私は医療機関が長いから。人の食事を日本一診ていると思っています。患者さんが食事を書いてきますからね。これを20年間、何千人だか、何万人だか診てきてている。これが現状です。

**清水** 幕内さんの本を見て「なんだ、これだけでいいのか！」って思いました。

**幕内** でしょ？ ほっとしたって言われます。今までの本は、若いお母さんに和食はむずかしいっていう印象を植え付けちゃった。板前さんが作ったような料理ばかり紹介してきたから。それも和食だけ、こんな現実的じゃないよっていうところから始まった。それでわざと「粗食」としたんです。

**清水** でも誰もが「粗食」に惹かれるわけじゃないですよね。

**幕内** 若いお母さんの3割は本屋に行かないと思う。マニアが1割。残りの6割の人に「私でもできるわ」って思ってもらえばいい。例えば私の子どもシリーズなんて最初から10万部いくと思った。今20万部かな。「粗食のすすめ」は誰が読むかわからない。でも「子ども」とつけばお母さんは絶対読む。惣菜の選び方から書く。写真もスーパーで買えるそのままの形で出す。買うおやつは例えれば冷凍の赤飯。そうすれば「あ、なに、作んなくていいわけ？」って思うでしょ。絶望感は与えない。

**清水** 病気は結局〈心の病気〉なんですかね。

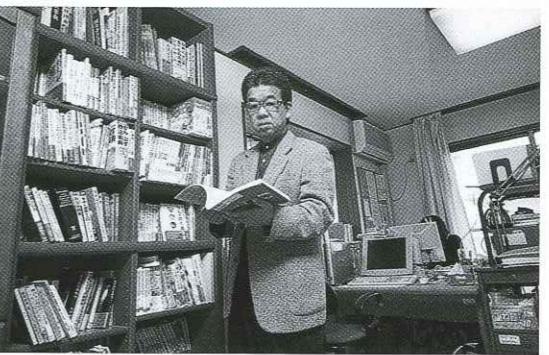
**幕内** 病気の原因になるのは食事だけど、その根底には生き方、心の問題があるわけです。「どういう食事をしたらいいの？」っていう本は子どもには解決方法になるけれど、大人は心の栄養として代わりのものを考えないと根本的解決にならない。

**清水** 半分心理カウンセラーミたい。

**幕内** いやあ、日本で一番のカウンセラーは居酒屋のおかみさんですよ。どのくらい自殺を救ってくれているか。

**幕内** 毎日勉強しています。というのは、食事なんてそんなに簡単じゃないと思っているから。一生の仕事です。牛馬なら一年中食べているものは同じ。パケツも一緒。でも人間はそうじゃない。備前焼とか何とか焼といった器を創るでしょ？ 人間は文化的な「人間」という動物で、心でも食べる。それが人間の最大の特徴なんです。

**清水** その特徴がいろいろな問題を引き起こすわけですね。



**幕内** それが人間。生きるためにも食べる。心の栄養も必要だということ。心の栄養って体にいいものはないんです。心の三大栄養素はアルコール、たばこ、まんじゅう・ケーキ。

**清水** ストレス溜まるときケーキのホール食いますよ。

**幕内** それは心が満たされないから。心の栄養は難しいですよ。でもおもしろい。買い物やギャンブルや異性も心の栄養だけれど、今はあまりにも幸福=〈口腹〉に偏り過ぎ。365日新年会、クリスマスができるコンビニの出現は大きいです。寂しい女性は毎日バレンタインデーになっちゃった。今度書こうとしている本は「夜中にチョコレートを食べる女」。卵巣膿腫、子宮内膜症、子宮筋腫、最近は20代で手術ですからね。その8割は夜中にチョコレートを食べる女。

**清水** 病気は結局〈心の病気〉なんですかね。

**幕内** 病気の原因になるのは食事だけど、その根底には生き方、心の問題があるわけです。「どういう食事をしたらいいの？」っていう本は子どもには解決方法になるけれど、大人は心の栄養として代わりのものを考えないと根本的解決にならない。

**清水** 半分心理カウンセラーミたい。

**幕内** いやあ、日本で一番のカウンセラーは居酒屋のおかみさんですよ。どのくらい自殺を救ってくれているか。

**幕内** 每日勉強しています。というのは、食事なんてそんなに簡単じゃないと思っているから。一生の仕事です。牛馬なら一年中食べているものは同じ。パケツも一緒。でも人間はそう

**清水** そこで買っているものを知らないけれど書けないわけですね。

**幕内** よく「今の若い者は……」みたいなこと言うでしょ。でもその先には何もない。問題を指摘する本はたくさんあるけれど、提案なき指摘は絶望感しか与えない

**清水** その特徴がいろいろな問題を引き起こすわけですね。

ローソン 立川曙町二丁目店	曙町2-17-3-1F 526-7652
いわしの たかね	曙町2-17-5-1F 527-5958
カフェ ア バン	曙町2-17-15-2F 527-4479
ダイエー 立川店	曙町2-18-18 525-0331
手打ちそば しぇもと	曙町2-20-5 529-5468
サイクルショップ シンボ	曙町2-21-5 522-6211
渓流魚菜料理 一 竿	曙町2-22-23-B1F 527-3640
天ぷら わかやま	曙町2-22-23-3F 525-0222
スペイン料理 ロ・アトロ・ガトス	曙町2-23-9-2F 528-1654
おそば やまもと	曙町2-25-8 522-6048
園部 肉 店	曙町2-28-16 522-2901
立川市女性総合センター アイム	曙町2-36-2 528-6801
三田花店 立川高島屋店	曙町2-39-1-1F 526-4187
エミリーフローラ 岩島屋立川店	曙町2-39-3-3F 526-9788
立川高島屋 サービスプロア	曙町2-39-3-7F 525-2111
オリオン書房 ノルテ店	曙町2-42-1-3F 522-1231
(株)JTB 法人東京 西東京支店	曙町2-42-1-8F 521-5550/5585
元祖 つけ麺 味 幸	曙町3-4-2 527-4701
立食いそば・うどん むさし	曙町3-21-21-1F 521-0377
和菓子屋 花奴万葉庵 工場店	高松町1-22-8 0120-398785

えくてびあんの輪  
立川と語ろう 立川に生きよう  
えくてびあんは  
リストのお店にいつもあります

多摩画材 (景品交換所)	高松町2-1-25 522-6031
丸助青果店	高松町2-4-18 522-3542
米穀・食料品 横町屋	高松町2-11-23 522-2609
ふじ整体院	高松町2-25-2-2F 540-9155
ライブハウス Crazy JAM	高松町2-26-3-8-1 529-9507
書籍・雑誌 フレンド書房	高松町3-18-2 527-1555
サロン・ケベカラ美容室	高松町3-21-12 527-4716
HAIR MAKES たしろ	高松町3-26-16 525-2175
ふとの青木寝商	若葉町1-8-1 536-6833
シルバーストラン サラ	若葉町1-10-1 534-0602
Beauty Salon リラ	若葉町1-11-1 536-3048
浅見内科医院	若葉町1-11-20 537-0918
みふじサイクル	若葉町1-12-4 536-7166
生鮮館 和光 立川店	若葉町1-13-2 538-3121
いなげや 立川若葉町店	若葉町3-21-1 537-4119
バティスリープルミエール	西砂町1-36-11 531-4835
有限会社 東京きのこ社	西砂町2-32-2 531-5625
パン工房 ゼルコバ	西砂町5-6-2 531-2392
CHINESE DINER 陶桃	一番町4-57-1 531-3100
フレッシュグリーン 八百賢	一番町6-17-9 531-5164

写真：五来孝平

# 立川に満願寺ありき

柴崎町在住の立川治雄さんが『立川に満願寺ありき』という本をまとめた。

わずか三百部の私家版ながら、かつて立川にあり、明治の廃仏毀釈で廃寺になつた古刹に関するまとめた貴重な記録だ。

「最初は孫たちに立川家が関わったお寺があつたということを伝えておきたいと思って……」—大正・昭和初期の記憶をまとめた『しばさきあちこち』の著書もある立川さんが、立川家に伝わる古文書などの史料に立川市報などの資料も加えて、満願寺についての本を著したのは、そんな思いから。

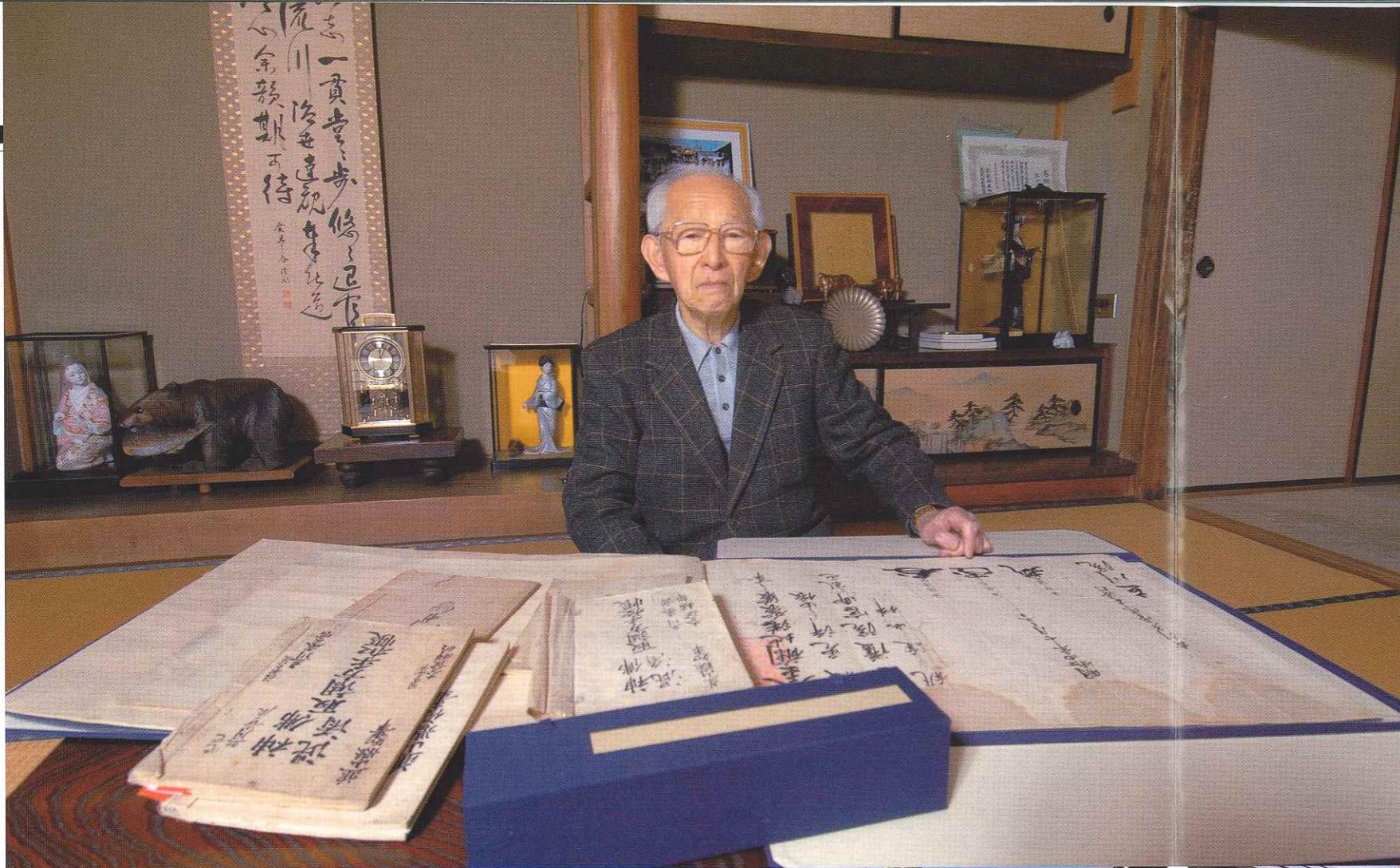
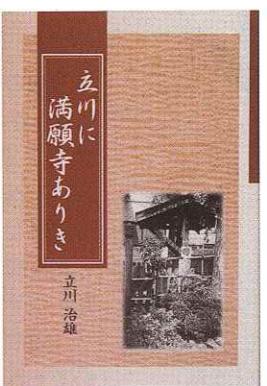
かつて「出口」と呼ばれた柴崎村の中心部。ご自宅近くの所  
有地に市文化財に指定される満願寺井戸跡ある。屋根などと  
ともに、寺の存在が忘れられないように、自費で井戸跡を改修し、  
見にくかつた文化財の標識の位置も見やすい位置に替えた。「満  
願寺」というと、みんな日野の万願寺かと思うんだから……」。

元禄年間、それ以前東光院と称していたが衰微していた寺を  
黄檗宗の名僧鉄牛から派遣された弟子・別峰が醫王山満願寺と  
して中興、薬師如来を安置していたことが知られるが、あとは

幕末に別峰の百年忌を行つたことなど断片的な記録しか残っていない。明治政府の廃仏毀釈令によつて明治八年に廃された。

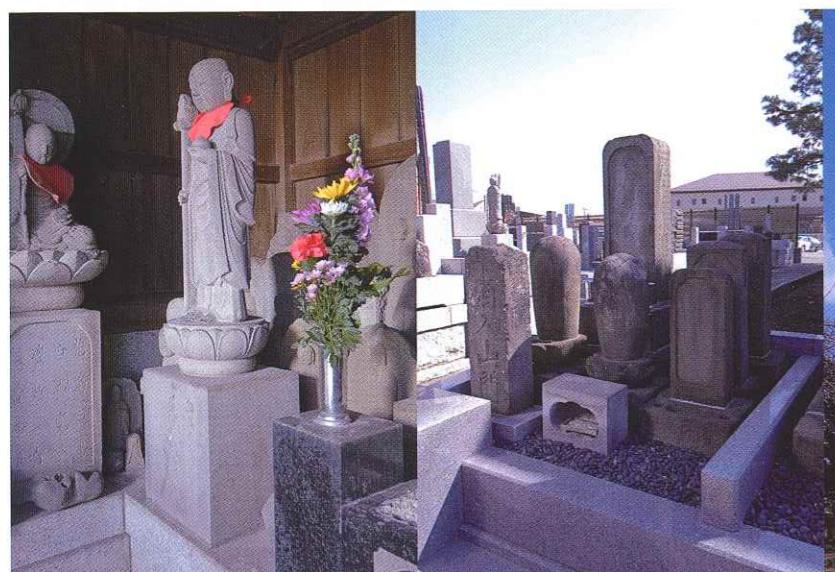
立川家も昔は立川院といつ修驗道の家。治雄さんの曾祖父・立川斎宮は多摩地域の神仏調査に関わるとともに、廃寺となつた満願寺の墓碑等を、現在の曙町一丁目にあつた立川家墓地に引き取り供養していた。祖父・昇三氏の代に青梅線の延長に伴つて墓地が縮小され、今は立川家の墓碑とともに普濟寺に移されている。

立川家と満願寺との関わりについても、よく分からぬことがまだ多い。立川さんは「昭和五十九年にわが家の古文書等の価値を認められ修復をしていただいた時にもっとと解明しておけばよかつた」と悔やむが、今回の著書は将来の解明に向けての期待を込めた現時点での記録。「立川」の歴史を探る立川さんの仕事は、まだ続く。

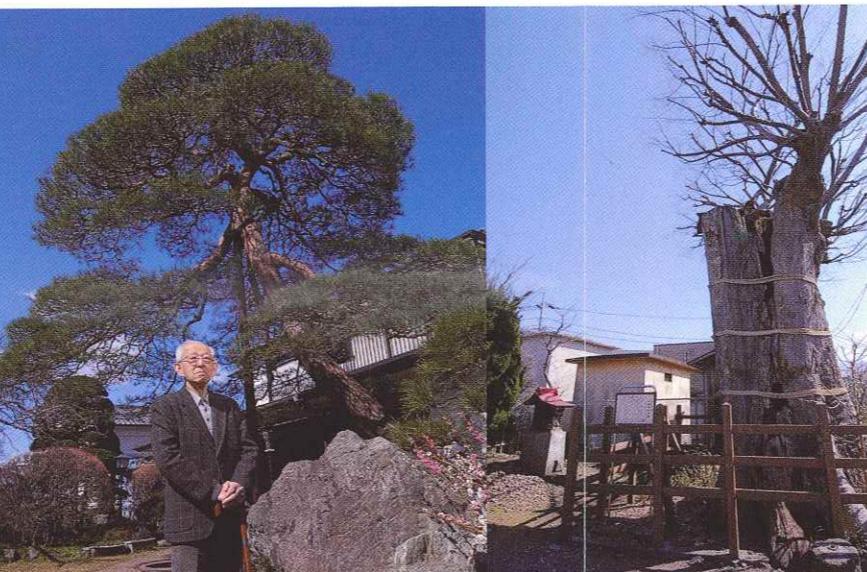


満願寺最後の住職が教育にあつた心源庵座禅堂(普濟寺)

井戸の奥、駐車場になっている辺りに本堂があつた



普濟寺に安置される満願寺境内にあつた地蔵像  
立川家墓の一角にまとめられた  
満願寺関係の墓碑等(普濟寺)



満願寺北側にあつた八幡宮の大木

立川と多摩地域が  
もっと楽しいホームページ

## 多摩ではこ ネット

http://www.tamatebako-net.ne.jp/

多摩ではこネット編集工房  
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F  
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609  
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

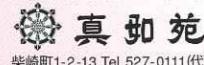
## 常楽我淨

真如苑提供番組くじょうらくがじょう

スカイバーフェクTV 216ch、マイ・テレビ 84ch

土曜午前9時~9時15分  
午後7時15分~7時30分  
再放送/火曜午前9時~9時15分  
午後7時45分~8時  
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川にて育てられて七十年



柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

URL http://www.kami.co.jp/  
**紙**  
資源を活かし  
文化を継承  
株式会社 立川紙業  
☎042(527)6111㈹ FAX.042(528)0080  
〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6  
配送センター◆ ☎042(560)2311

大廣社は今、「知的集約」型企業を実践しています。



先進のシステムと  
最新技術との融合

株式会社  
大廣社  
〒190-0022 東京都立川市鶴町5-17-13  
tel.042-527-1911  
fax.042-527-1949  
E-mail info@dakousya.jp  
http://www.dakousya.jp/index.html

## えくてびあん

- 第三回「応現院」文化講演会 開催  
(エジプトの現在)  
ヒシャム・モハメド・モスタファ・バドル氏を迎えて



応現院文化講演会実行委員会では、昨年6月と11月に引き続き、本年2月15日第三回「応現院」文化講演会を開催した。今回の講演者は駐日エジプト・アラブ共和国特命全権大使 ヒシャム・モハメド・モスタファ・バドル氏。

壇上に立ったバドル氏は、まず「ここにちは」と日本語で挨拶をし「郷に入ったら郷に従えでしょ?」と笑顔で続け、会場は一気になごやかなムードになった。講演は英語で行われ、通訳を介して、同氏はエジプトの現在の暮らしや日本との友好関係、エジプトの人々がどのように日本を見ているなどを多彩に語った。講演会後、バドル氏の希望で質疑応答が行われた。「イラク戦争など現在のイスラム社会情勢を憂慮するものであるが、閣下はいかにお考えか」との質問に、「その原因があなたが宗教であるかのように言われるのは誤解であり、戦争は政治的なもの」と応えた。講演会終了後には応現院内の参観が行われ、仏像や曼荼羅をゆっくり見る機会が設けられた。実

行委員会では今後も講演会等を通じて、真如苑の寺院である「応現院」を地域住民に活用してもらえる文化交流の場として提供していく。

## 御礼!〈第22回 ベスト立川人・展〉 無事終了



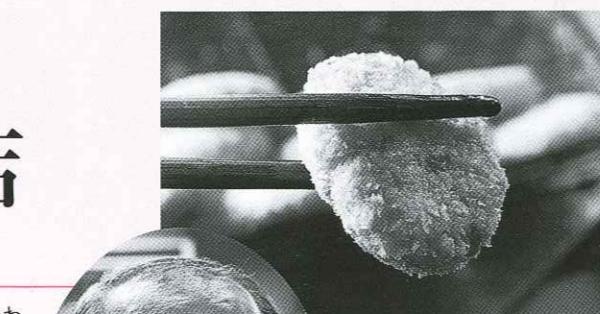
恒例のえくてびあん〈ベスト立川人・展〉が2月11日、無事終了しました。昨年一年間、毎号表紙を飾って下さった立川人、対談やVIEWのページにご登場いただいた方々が、大きな写真展示で遊び訪れた人に笑顔と元気を与えてくれました。連載していた「和菓子ものがたり」も全編一挙展示。改めて立川の和菓子の魅力を紹介しました。お店を特集したイヤーブックも大好評。会場で使用した杉の丸太は、株式会社 多摩農林の協力で青梅の里山から運んできた間伐材。〈ベスト立川人・展〉終了後は毎年市内のいろいろな場所で市民に利用してもらっています。来場数は過去最高の2075人。立川で生まれて皆様に育てられて23年。えくてびあんはこれからもみなさまに元気をお届けしてまいります。お楽しみください。

## この人この店 ④

## 園部肉店

園部雄布さん

シネマ通りで春と秋、年2回行われる園芸教室。毎回大盛況のこの企画を立ち上げ引っ張ってきたのがこの方、園部雄布さん。「お金のかからないことで街の活性化を図ろうと、平成10年から緑化に取り組んでいます。いつのまにか立川市も花の街になって、花を通じて行政の方や様々な方面の方とお知り合いになりましたよ」とおっしゃいます。最初からお花が好きだった?—「果然!」。砂川から曙町へ移って3代目、シネマ通りにお店を移して20年になります。シネマ通りのフラワーストリート計画も定着し、花を植えることが地域に広まっています。二小に花を植えようというボランティア(ひまわりの会)も発足しました。お店も忙しそうだし仕事の8割は配達だというし、地域活動に力を入れていて大丈夫?—「地域の活性化が必ずそれぞれの商売に反映してくるんですよ。動くことはいとわないから、そう思って頑張ってます」—偉いなあ。



〒190-0012 立川市曙町2-28-16  
TEL 042-522-2901  
TEL 042-522-5331  
営業時間 13:30 ~ 19:30  
(揚げ物時間は 16:00 ~ 18:30)  
定休日 日曜・祭日



写真撮影: 五来孝平

## たすかわ散歩道 ⑨

## 旧根川の桜と清流

## 立川崖線と根川に春風をもとめて

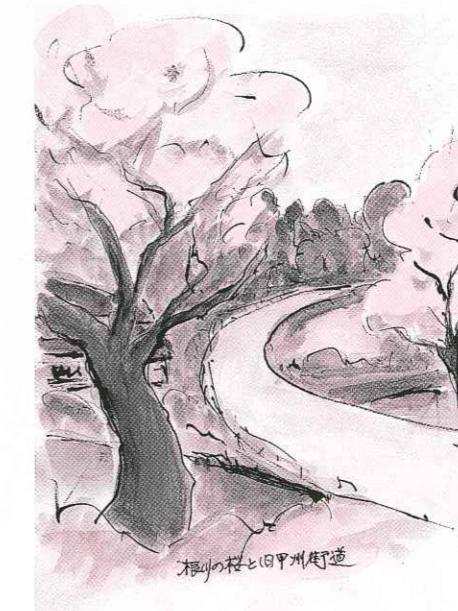
挿絵と文 ■ 森 信保

春の訪れとともに多摩川河岸段丘辺りの雑木林も芽吹き始め、のどかな春風が人を誘う。その中を残堀川沿いから名所「根川の桜」と清流沿いを散策する。

立川南口①からのバスを「農業試験場前」②で降り、大ケヤキと湧き水がある木々に覆われた道を下り「歴史民俗資料館」③へ。ハケ下の芽吹きを見ながら資料館から南に進み、郷地から流れて来る用水の橋を渡って川沿いに歩く。右手には「富士見町团地」が並び、前方に「南富士見小学校」。小川の北側は広々とした「都立農業センター農園」(試験場)と段丘の林。早春ののどかさを感じさせる。

高架橋のガードを抜けて残堀川④(旧根川)滝下橋へ。この崖線下は湧水が豊富で「滝壺」「滝ノ下」と呼ばれ、昔から根川(残堀川)の水源地だった。江戸時代前期頃までこの周辺には人が住んでいたが、たび重なる多摩川の洪水被害で台地上(滝ノ上)に移住したとも言われている。また、この富士見町六・七丁目一帯は、昭和30年前半までは一面が水田や玉川梨の田園風景が広がり、さらに山並みの向こうに富士山が見える風光明媚な場所だった。

残堀川沿いの桜を見ながら川下の「馬場坂下橋」を渡ると、坂のふもとの「桜植樹碑」が目につく。大正初め「立川町青年団馬場支部」の手により百本の桜の木が植えられ今日の「根川の桜」の起因となった記念碑。また旧根川には昭和20年代の頃までボート場があり、遊び場として多くの人



に愛され親しまれてきた。

JR中央線ガードをくぐり普濟寺下両岸の桜を見ながら「根川緑道」⑤に進むと、名所桜の古木と清流が迎えてくれる。駅前からの大通りを横断し古道に入り「柴崎分水」横の「立川公園」⑥へ。この周辺も昭和30年代までは、段丘下の田んぼと、分水・湧水が流れ、立川村の原風景があった。公園でひと休みして句碑をながめ、分水沿いに歩くと下和田坂の旧甲州街道に合流する。その角に昭和30年頃まで石の「道しるべ」があった。現在は「歴史民俗資料館」の庭にあり見学することができる。

旧甲州街道(下和田道)を通り「柴崎体育館」前の根川緑道に戻り「市下水処理場」東側、昔から水涸れない貯水池を見ながら甲州街道下のガードを抜けて「市営野球場」⑦に。昔ながらの川土手と桜並木の根川の風景が目にに入る。古木桜は花も年輪を重ねたように堂々としている。根川の風情そのままに長い歴史と懐かしさを感じながら国立市境「根川貝殻坂橋」⑧のたもとに到着。



行程 ①立川駅南口(バス) — ②農業試験場前 — ③歴史民俗資料館 — ④残堀川 — ⑤根川緑道 — ⑥立川公園 — ⑦市営野球場 — ⑧根川貝殻坂橋

## 表紙の人

吉川勝子さん(柴崎町)

一本の糸から編み出す、誰もが着て美しく見える服—編物の楽しさを柴崎町のご自宅の教室で教える。結婚して立川に住み40年。KCS全国カルチュアスクール理事もつめるが、根はしっかりと立川に。基礎から高度な応用技術まで、時代の流れを取り入れ、洗っても色落ちしない絵具で絵を描いたセーターといった新しい試みも。若い女性から高齢者まで、個性を伸ばし脳を活性化、健康に役だっておしゃれを楽しめる最高の趣味!と編物の魅力を広め続けている。

根川緑道で 写真: 細江英公

## かたこと

まずお詫びと訂正。3月号表紙の人・野村武志さんのお店の字は「玉河」でした。申し訳ありません▼例年なく暖かいこの春は花も気分も一段と嬉しい気がします。気がつけば学校や職場に新人さんの4月▼4月8日はお祝いの誕生日。天地を指される誕生仏に甘茶をおかけする。「花まつり」と呼べば、うらうらとした季節に実にふさわしい▼VIEWはかつて立川にあった「満願寺」のことを著書にまとめられた立川治雄さん▼ほとんど忘れられたお寺の唯一残る井戸、ゆかりの碑などを代々守ってこられた立川さん。御歳92歳。柴崎本村の歴史を伝える情熱に敬服するばかりです▼お元気な高齢者が多い一方、もっと若い世代の「食」が危ない。対談にご登場いただいた幕内秀夫さんは「粗食のすすめ」で今やひっぱりだこの「食と健康」の専門家▼生きる上で欠かせない「食」が問われる時代。アルコール、たばこと、ついぐ心の栄養に走る編集子にも切実です▼異常気象といっても春は確実に熟してきます▼やわらいでくる空気と水に草木も動物も活発になる春。フレッシュな若者にも、リフレッシュ世代にも天地の恵みは平等。ありがとうございます! お詫びと訂正。3月号表紙の人・野村武志さんのお店の字は「玉河」でした。申し訳ありません▼例年なく暖かいこの春は花も気分も一段と嬉しい気がします。気がつけば学校や職場に新人さんの4月▼4月8日はお祝いの誕生日。天地を指される誕生仏に甘茶をおかけする。「花まつり」と呼べば、うらうらとした季節に実にふさわしい▼VIEWはかつて立川にあった「満願寺」のことを著書にまとめられた立川治雄さん▼ほとんど忘れられたお寺の唯一残る井戸、ゆかりの碑などを代々守ってこられた立川さん。御歳92歳。柴崎本村の歴史を伝える情熱に敬服するばかりです▼お元気な高齢者が多い一方、もっと若い世代の「食」が危ない。対談にご登場いただいた幕内秀夫さんは「粗食のすすめ」で今やひっぱりだこの「食と健康」の専門家▼生きる上で欠かせない「食」が問われる時代。アルコール、たばこと、ついぐ心の栄養に走る編集子にも切実です▼異常気象といっても春は確実に熟してきます▼やわらいでくる空気と水に草木も動物も活発になる春。フレッシュな若者にも、リフレッシュ世代にも天地の恵みは平等。ありがとうございます!

## スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子  
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
AMNET design factory

写真 五来孝平/中村伸

## えくてびあん(C) 4月号

第25巻 通巻269号  
平成19年4月1日発行  
発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
編集人 芳賀敏博  
发行人 加賀悦也  
印刷 (株)大廣社  
無断転載を禁じます。

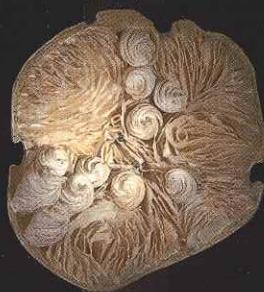
# やきものごとく

## 立川の女性陶芸家＝3＝

坂本喜代美さん（栄町）①

思い込むとつき進んでしまうんです。料理好きで粘土の魅力にも惹かれて陶芸をやろうと決め、美大時代にアルバイトして窯を買い卒業後すぐ個展。それからずっと試行錯誤です。装飾的なものを削ぎ落して色も限定し……今は器よりもシンプルに

オブジェ的なものを楽しんでいます。紙は漉いたりする工程がおもしろくて使っていますが、化石標本のような感じがするでしょ。小さい頃から図鑑で恐竜や地層を見るのが好き。土や紙で生き物の痕跡、乾いた生命を創っているのかもしません。



[空想化石標本]

写真：五来孝平



[異国の住人・(古代魚)]



### 坂本喜代美

さかもと・きよみ

女子美術大学工芸科で陶芸を学び卒業後、陶芸作家として活動。うつわだけでなくオブジェ的作品や照明、和紙を組み合わせた造形でも注目される。

2005年和紙のしごと大賞コンペティションで大賞。グループ展、個展など多数。